

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(257)(HP 収載) —《ゴルトベルク変奏曲》弦楽三重奏版—

1. 始めに

前報(256)に引き続き、STAGE+の《ゴルトベルク変奏曲》の弦楽三重奏版演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+の《ゴルトベルク変奏曲》の弦楽三重奏版の演奏を選びました。

シトコヴェツキーによるバッハの名曲《ゴルトベルク変奏曲》弦楽三重奏版
コンサート

ミッシャ・マイスキーらを迎えて（1985年）

収録日：1985年1月1日

本映像でお聴きいただけるのは、ヴァイオリニストであり指揮者のドミトリー・シトコヴェツキーによるバッハの大作《ゴルトベルク変奏曲》の弦楽三重奏のための編曲版です。伝説的なバッハ弾き、グレン・グールドに捧げられました。鍵盤楽器作品の中でも屈指の難曲でもあるこの楽曲。弦楽器奏者にとっても高い技術はもちろん、アンサンブル能力も問われる難曲に仕上りました。編曲者自身のヴァイオリン、そして世界を代表するチェリストであるミッシャ・マイスキーにヴィオラのジェラール・コセによる最高のアンサンブルでお楽しみください。

ソリスト：

ドミトリー・シトコヴェツキー（ヴァイオリン）、ジェラール・コセ（ヴィオラ）、
ミッシャ・マイスキー（チェロ）

曲目：

ヨハン・セバスティアン・バッハ

《ゴルトベルク変奏曲》BWV 988（シトコヴェツキー編）



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間とスイッチングハブ→PC 間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

本来は、チェンバロで演奏される Goldberg 変奏曲の弦楽三重奏への編曲です。シトコヴェツキーのヴァイオリン、コセのヴィオラ、マイスキーのチェロが、互いに役割を分担し、旋律を受け渡しながら進行します。1985 年のライブ収録で、音質はそれほどよくありませんが、ユニークな編曲と 3 人の個性あふれる演奏です。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX を適用した結果、Goldberg 変奏曲の弦楽三重奏への珍しい編曲の 3 人の個性の溢れた演奏が聴けました。

以上